

30106道路建設工事における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	14 ～ 15	高速道路側道を規制して吹き付けのためのプラント作業中、一般車両が脇見運転によりガードフェンスに衝突して規制帯内に侵入した。そのとき、前輪タイヤが外れ、外れたタイヤが左足にぶつかって転倒し、左膝、左下腿、左肩に打撲を負った。	59	17	231	30 ～ 49
2	2020	1	10 ～ 11	道路整備工事のシールコンクリート打設工で、コンクリート打設開始前に現場詰め所に道具を取りに戻った際、現場仮囲い出口前の安全通路上で足をひねり、右第5足指を骨折した。	55	19	921	1～ 9
3	2020	1	10 ～ 11	現場内から休憩所へ向かうとき、敷地境界に設置してある小扉を開けて通行した際、地面の不陸につまずいて、第5中足骨を折った。	55	2	417	10 ～ 29
4	2020	1	14 ～ 15	法面復旧工事現場で、斜面に丸太杭を打ち込んでいた。機械で打ち込む前に仮打ちをした後、危険回避のため杭から離れて指示を出そうとしたとき、背後から仮打ちした杭が倒れてきて、頭部に当たり打撲傷を負った。	42	5	419	1～ 9
5	2020	1	16 ～ 17	法肩小段で、樹木の幹に登り、チェーンソーで切断中、幹が滑り、左足に落下し、左足舟状骨・左腓骨遠位端を折った。	34	7	712	1～ 9
6	2020	1	13 ～ 14	ブロック施工で碎石搬入する際、ホッパーの揺れを停止させるため右手で押さえていたところ、横のコンクリート壁に中指を挟まれて不全切断を負った。	71	7	379	1～ 9

15	2020	2	9 ～ 10	石積箇所の水替えポンプ調整のため、高さ50cm位から岩の段切部より降りようとして、足を滑らせて落ち、左膝蓋骨折を負った。	72	1	711	～ 29
16	2020	2	15 ～ 16	草刈作業後、2t車に刈草を積込んで移動し、置いていた刈草を整理するため、車の荷台に乗って作業中、車が急に動いたため落下し、第1～3腰椎左横突起を骨折した。	54	1	221	～ 29
17	2020	2	15 ～ 16	業務中、ダンプに給油しようとガソリンスタンドへ向かう途中、左折時、助手席の荷物が倒れたため、それを起こし押さえようとした際、視線を前方から離れた際に右側の田んぼへ脱輪した。その際、顔面・頭部・腰を強打し、腰椎圧迫骨折疑いおよび腰椎横突起を骨折した。	45	17	221	1～ 9
18	2020	2	15 ～ 16	ランマーを使用した際、土に埋まり込んでランマーを引っ張り上げようとして尻もちをつき、ランマーと共に転倒し、第12胸椎圧迫骨折を負った。	74	2	144	1～ 9
19	2020	2	11 ～ 12	法面の小段で、竹木を引き出し片付ける作業中、転落して、腰に捻挫を負った。	55	1	416	10 ～ 29
20	2020	3	16 ～ 17	側溝布設作業の高さ調整時に、バックホウで側溝を押したときに、側溝が倒れ、左足を挟み太ももと膝を打撲した。	71	7	418	1～ 9
21	2020	3	11 ～ 12	川近くの道路で舗装工事をしていたとき、清掃用の竹ぼうきを川に落とした。拾おうとして高さ約3.5mの高さから飛び下りたところ、着地点に石があり、右足首を骨折した。	55	3	711	10 ～ 29
22	2020	3	11 ～ 12	工事現場で、圧入機で長さ10mの鋼矢板の打ち込み作業中、写真を撮るため掘削穴に入った際、土砂が崩れ埋まり、脳挫傷で死亡した。	38	5	711	1～ 9
			15	工事現場でダンプの荷台（地上1m）からブロックを降ろす作業をす				

23	2020	3	16	る際、荷台のアオリを開けようとしたところ作業服がアオリに引っ掛かって体が引っ張られ、側溝（地下1m）に転落して骨盤と肋骨を折った。	68	1	221	1～9
24	2020	3	13～14	バックホウのアイヨンとバケツを交換するため、鉄筋を使って作業を行っていた際、鉄筋が左顔面に接触して挫創を負った。	32	8	521	1～9
25	2020	4	10～11	高さ6mの擁壁上に設置している標識基礎と標識柱のボルトを固定する作業中、締付工具がボルトから外れ、体勢を崩して背面の擁壁天端より下部地面に足から落下し、右足の踵、足首を骨折した。	47	1	418	1～9
26	2020	4	16～17	工事法面下部で、伐倒木を3m程度に玉切りするため、別の作業員がグラップルを操作し、安定した場所へ木を移動させようとした。グラップルで仮置きした際に木が転がり落ち、待機していた被災者に枝先が当たり、左鎖骨と肋骨を折った。	53	6	712	1～9
27	2020	4	7～8	資材置場で、フォークリフトを使って鉄板を持ち上げようとしたとき、フォークリフトのアームが外れた。その際、下にいた被災者に当たり、肋骨を折った。	59	4	222	10～29
28	2020	4	11～12	2tパワーゲート車に機材（エアカッター）を積込作業中、扉を閉める際、右手薬指を作動部分に添えたため、上昇したゲートに指が挟まれ、右手薬指に損傷を負った。	38	7	221	1～9
29	2020	4	9～10	水路内で架設パイプをつなぐ補修作業中、中腰の背中部分に土砂が落ちてきたため重心を失い、顔面をコンクリート底面に打ち付けて鼻骨を折った。	42	5	711	1～9
30	2020	4	13～14	土場に隣接する歩道（赤線）で、歩道整備中、作業で発生した小石を除去するため、バックホウを使用しバケツを落差3.5m下の歩道に置き投入していた。オペレーターがバケツを若干上げた際、下方に死角があり見えないためバックホウを前進させた。その際、バケツは水平な動きになり、近辺に立っていた被災者は退避が遅れ、バケツと歩道橋にあった転石の間に挟まれ、骨盤を折った。	51	7	142	1～9

31	2020	4	16 ～ 17	アスファルト工事中、敷均し担当で、高熱に耐えきれず冷まそうとして、安全靴の中にジョウロで水を入れたため、両足の裏に大火傷を負った。	28	11	529	1～ 9
32	2020	4	17 ～ 18	選別機械の整備で部品の組立取付中、右手で部品を持ち、左手でハンマーを持ち、組み立てていたところ、部品がずれて右手薬指を挟んで打撲した。	51	7	121	1～ 9
33	2020	5	9 ～ 10	会社資材置き場で資材の片付け作業中、ヒューム管の中に手延べしてもらい、板とパイプを入れた後にヒューム管から下りるとき、足が滑って地面に着地し、地面の少し傾斜部分に左足を着いて捻挫した。	40	1	416	10 ～ 29
34	2020	5	10 ～ 11	小口止めコンクリート補修作業で二連はしごを使用中、2mくらい上がったところでロックが外れ、その拍子に体が投げ出され下にあった石に右腰を強打して骨盤を折った。	68	1	371	10 ～ 29
35	2020	5	8 ～ 9	バックホウ（0.45クレーン付）で、敷鉄板を移動しようと、敷鉄板へフックを掛け、吊り上げたときに、バケットフックに左手が挟まれて、左手中指および薬指、人差し指に裂傷を負った。	19	7	142	10 ～ 29
36	2020	5	14 ～ 15	上り勾配部で高所作業車のアウトリガを格納後に輪止めが食い込んで外れなかったため、輪止めを少しずらそうと後部アウトリガのジャッキを誤って上げる操作をした。その結果、高所作業車が後方に逸走し、その後部（2番目）車両に接触するときに、当車両も後方に逸走を始め、最後尾車両に接触して停止した。その際、2番目車両と最後尾作業の間で作業していた被災者が足を挟まれ、右足に打撲傷および左足に骨挫傷を負った。	51	7	221	30 ～ 49
37	2020	5	9 ～ 10	土場で片付けと清掃をしているとき、鉄板を移動させようと重機で吊り上げた。その際、金具から鉄板が外れて落下し、右足に当たって骨折し、裂傷を負った	55	4	372	10 ～ 29
			10	被災者が重機整備中、修理に来ていた他の従業員が、スイッチを押				1～

38	2020	5	～ 11	してしまい、ゲートが落下して顔面を骨折した。	52	4	391	9
39	2020	5	11 ～ 12	道路の路面補修作業中、次の施工場所に移るため規制作業内を歩行していた際、境界ブロックにつまずいて転倒し、左脛を骨折した。	45	2	418	50 ～ 99
40	2020	5	16 ～ 17	営業所で工具類に付着した汚れを落とす際、両手にパーツクリーナーの噴霧液が付着していたが、手を洗う前にタバコに火を付けた瞬間、着火炎上し両手平、甲に火傷を負った。	40	90	911	50 ～ 99
41	2020	6	7 ～ 8	平ボディのトラック荷台から草刈り機を降ろし、被災者がトラックのアオリに足を掛けて1.5mほどの高さから地面に飛び降りた際、左足首をひねって骨折した。	42	3	221	10 ～ 29
42	2020	6	8 ～ 9	深さ60cmの堀削床から上る際、足を滑らせて上の丁張（垂木杭）に左胸部から転倒し、左外傷性気胸、左肋骨を折った。	72	2	417	10 ～ 29
43	2020	6	8 ～ 9	道路改良工事中、リブパイプφ300mm（38kg）を2名で積み込み中、トラックの後ろアオリとリブパイプに左手親指を挟み損傷した。	74	7	521	1～ 9
44	2020	6	15 ～ 16	敷地内にある産廃処理施設の機材の点検を一人で実施していた社員が、機械の脇に腰掛け休んでいる被災者の異変に気付いたところ、額に血がにじむような外傷があった。状況について記憶障害があり不明であるが、外傷性くも膜下出血を発症していた。	76	99	999	30 ～ 49
45	2020	6	10 ～ 11	覆工板受桁に取り付けてあったズレ止め内に蓄積された土砂を除去しようと、溝形鋼の先端に縦吊りクランプを装着し、溝形鋼をバックホウ0.25?級移動式クレーンにて吊り上げた。そのとき、溝形鋼と縦吊りクランプが外れ、溝形鋼がバックホウと反対側に倒れ、頭部と右肩に当たり、打撲を負った。	26	4	141	10 ～ 29
			21	再構築工事で路面転圧作業前、舗装版から路盤へ1tハンドローラー				30

46	2020	6	22	～	を下ろす際、反動で1tハンドローラーレバー部が上がり、その後、レバーが下がったときに右太腿に接触して挫創を負った。	36	6	144	～	49		
47	2020	6	17	～	18	本社倉庫内で、鉄板（1.5m×3.0m）を小型移動式クレーンを用いて片付ける際、鉄板下に設置した枕木がずれていたため、左足で直そうとした。その際、クレーンの運転手との合図がうまくいかず、鉄板が左足に当たり、甲と小指を骨折した。	36	6	211	10	～	29
48	2020	6	14	～	15	市道災害復旧工事で、4tトラックから小型バックホウ（3t）を降ろす作業中、荷台が濡れており、キャタピラが滑りバランスを崩し傾いたため、被災者が飛び降りた。その際、アスファルト路面に両手両足をつき、右足膝に打撲傷を負った。	49	3	416	10	～	29
49	2020	6	12	～	13	資材置場で、雨の中、投入機を運んでいる途中、ブロックにつまずき転倒した際、投入機が右足首に乗り、打撲した。	17	2	523	10	～	29
50	2020	6	16	～	17	2tトラックで倉庫へ帰る途中、見通しの悪いカーブで脇道から出てきた普通自動車と衝突し、頸椎・腰椎捻挫、両膝打撲傷を負った。	20	17	221	10	～	29
51	2020	7	14	～	15	スノーシェッド基礎、ライナープレート土留坑内で、手持ち式ハンドブレイカーを使用して堀削作業中、体勢を立て直そうとした際、ノミ先を左足甲の上部分に落として骨折した。	35	4	364	10	～	29
52	2020	7	8	～	9	資材置き場で、4tユニックにて足場材を地上へ荷降ろし作業中、ユニック操作をしていた者が一旦作業場を離れるため、無資格者である被災者は作業待機の指示を受けたが、単独でユニックを作業し始めた。その際、ユニックのリモコン操作を誤り、ブームが急激に起こされた状態になって吊り荷が大きく振られ、吊り荷とユニックに挟まれて肋骨と胸骨を折った。	48	7	212	1	～	9
53	2020	7	13	～		整備工場内で、旋盤に鉄筋棒をセットし、表面を磨くためにサンドペーパーを巻き、手袋をした右手でサンドペーパーを握りスイッチを入れたところ、手袋の指先が回転に巻き込まれ、右手中指を不全	53	7	151	30	～	

			14	切断した。				49
54	2020	7	11 ～ 12	道路災害復旧現場で、ブロック積み天端に設置するガードレール基礎を運搬する際、重機で荷を吊った状態で旋回したところ、重機がバランスを崩して転落した。その際、下方にいた被災者が下敷きになり、右足首を骨折した。	25	6	142	10 ～ 29
55	2020	7	11 ～ 12	深さ1.3mの掘削完了後、法肩付近で作業中に足を滑らせて掘削穴内へずり落ち、右前腕を骨折した。	20	1	414	1～ 9
56	2020	7	16 ～ 17	直径約12cmの石が、敷き鉄板の上に落ちていて、近くで土砂の積込を行っていたダンプトラックが前進した際、後輪で石を踏んで弾き、約5m離れたところにいた被災者の左膝に直撃して骨折した。	46	4	221	50 ～ 99
57	2020	7	14 ～ 15	平らな道路で、岩をセリ矢で破碎している際、セリ矢の角が欠けて、後ろで退避している者に破片が突き刺さり、左大腿部皮尺血腫異物混入を負った。	20	4	364	1～ 9
58	2020	7	16 ～ 17	高所作業車で伐採除去を行っていた際、登坂車線を下ってきたトラックと高所作業車のゴンドラが接触し、作業員が飛ばされ落下し、頭に硬膜下血腫、顎と鼻を骨折、左手首および左足他に複雑骨折を負った。	62	1	146	30 ～ 49
59	2020	7	10 ～ 11	現場で、木を伐採して道路に飛び散った木殻の片付中、バックホーで挟んでいた木の幹が旋回して被災者の後頭部を強打して、勢いよく前に倒れて地面に顔面を打ち、右前頭骨を折り、鼻唇溝挫創を負った。	59	6	142	10 ～ 29
60	2020	8	16 ～ 17	会社敷地内の資材・重機置き場で、重機が移動しやすいように、縦6m×横1.5m×厚さ2.5cmの鉄板2枚が並べてあったのを、鉄板と鉄板の間隔を開けようと、鉄板の下に金テコを固定し動かしていたら、固定していたテコが外れ、その弾みで金テコの先が額にぶつかり、陥没骨折した。	33	6	364	30 ～ 49

61	2020	8	8 ～ 9	現場内で資材の積み込み作業中にダンプトラック荷台に乗り、玉掛作業中にダンプトラックが前進したため荷台から地面に転落して、腰椎を骨折した。	44	1	221	～ 49
62	2020	8	11 ～ 12	汚水管渠の敷設現場で、重機オペレーターをしていたが、手作業が必要な状況となり、重機を止めて作業をした。その際、手堀をしたため、無理な力が掛かり、腰痛を発症した。	67	19	921	～ 29
63	2020	8	17 ～ 18	IC情報板の故障対応後、情報板からはしごを使って下りていたとき、高さを見誤って約2mの所から飛び下り、左踵を骨折した。	45	3	371	～ 99
64	2020	8	15 ～ 16	発注者所有の土地で草刈りをしていた際、石が跳ねて左目に当たり、角膜に潰瘍が生じた。	25	4	169	～ 49
65	2020	8	15 ～ 16	採掘場で、碎石を積み込む作業を行い、ダンプに乗るために移動中、碎石に足をとられて転倒し、腰を圧迫骨折した。	69	2	711	1～ 9
66	2020	8	8 ～ 9	資材置場で、工事材料の溶接金網を現場へ搬出する作業の際、ダンプに積み込み後、被災者は荷崩れに対応するため荷台に乗車した。ダンプが発進した際、路面の段差で大きくバウンドしたため荷台上で転倒し、頭部を強打して、陥没骨折、切創を負った。	43	6	221	～ 49
67	2020	8	9 ～ 10	道路上で、路盤の不陸整正を行っていた際、碎石を均すためにユンボが前進していた。被災者は、状況写真を撮影するためユンボの後方にいたところ、振り返っている間にユンボが後退したためキャタピラに右足が轢かれ、足首を骨折した。	38	6	142	1～ 9
68	2020	8	11 ～ 12	チェーンソーで竹を伐採していた際、手元が滑り、その反動で左大腿部に挫滅創を負った。	39	8	136	～ 29
			14	小段側溝に溜まった土砂を一輪車に集積し、1.5m下の既設函渠の天				10

69	2020	9	～ 15	端に敷き均そうとして、法面下方に後ろ向きで一輪車を移動した際、一輪車の重さに耐えきれず押されて函渠下に墜落して左手、腰、脊髄を骨折した。	29	1	362	～ 29
70	2020	9	～ 12	11 空港構内道路での草刈り作業時に、草刈り機をバックでの移動中につまずいて転倒し、草刈り機に巻き込まれ左下腿に挫滅創を負った。	30	7	169	1～ 9
71	2020	9	～ 8	7 2tダンプから降りる際、足を滑らせてお尻から落下し、腰椎を圧迫骨折した。	68	1	221	10 ～ 29
72	2020	9	～ 10	9 台風被害で倒木を撤去する際、倒木した枝をチェーンソーで切断作業中、切断した木（長さ3m、直径15cm）を切り離れた直後に、反動で動き出した木が近くで作業をしていた被災者の顎に殴打し、骨折した。	68	6	136	1～ 9
73	2020	9	～ 16	15 金鋼製資材の配置中、不安定な場所にあったため、固定しようと右足で踏んだところ、金鋼の反対側が跳ね上がり、左下腿に刺創、汚染創を負った。	64	4	521	1～ 9
74	2020	9	～ 16	15 床堀作業中、掘削部に左足から下りた際、左足関節靭帯損傷を負った。	69	1	416	10 ～ 29
75	2020	10	～ 12	11 現場への移動中、赤信号で停止していたところ、軽自動車に追突され、頸椎を捻挫した。	43	17	231	1～ 9
76	2020	10	～ 11	10 敷地内で0.15BHを使用し、積み込み作業をしていたところ、稼働重機の真後ろにいたため、重機に右足を轆かれ骨折した。	55	7	141	50 ～ 99
77	2020	10	～	16 工事のため通行規制中の道路上で、3tトラックに小型重機にて小型転圧機を積み込むとき、レバー操作を誤り、吊荷が振られて大腿部	47	3	211	1～ 9

			17	に接触し、右大腿部を打撲した。				
78	2020	10	16 ~ 17	現場作業を終えて帰社し、ユニック車に積載していた敷鉄板（1.5m×3.3m、重量800kg）を荷台から降ろすとき、荷台で鉄板にフックを掛ける作業を担当した。鉄板が吊り上げられた際、ワイヤーの重心が少しずれ、鉄板が足下の方に揺れたため、鉄板とユニック車のバックリの中に足が挟まれ、左足踝上部（外側）を骨折した。	74	4	212	1~ 9
79	2020	10	9 ~ 10	コンクリート2次製品をワイヤーで吊り下ろし、ワイヤーを抜こうとしたところ、荷崩れを起こして両足に落下した。その際、両腿を打撲し、右足親指の骨にひびが入った。	51	5	372	1~ 9
80	2020	10	8 ~ 9	車で走行中、意識が朦朧となり、電柱に衝突し、ハンドルに胸部を打ち、鎖骨と胸骨を折った。	47	17	231	10 ~ 29
81	2020	10	8 ~ 9	資材置場で片付けをしていた際、型枠資材の上に乗ったところ足が滑って尻もちをつき、胸椎を圧迫骨折した。	63	2	522	10 ~ 29
82	2020	10	9 ~ 10	資材置き場で鉄板の整理作業中、鉄板の外側に左足が当たり擦り傷と打撲を負った。	58	3	521	1~ 9
83	2020	10	16 ~ 17	溝にコンクリートの蓋を架けるため、生コンクリート打ちの下準備をしていたとき、40cm大の石垣石を持ち上げ溝の縁に設置中、石が転がり落ち左足親指を骨折した。	69	4	523	1~ 9
84	2020	10	16 ~ 17	バックホーでコンクリート二次製品をダンプに積み込む際、作業者が床に落ちた物を拾おうと屈んだ際、体がレバーに接触しバックホーが動いた。その際、もう1人の作業者がよろけて転倒し、後ろにあったコンクリート二次製品に腰を強打し、第1腰椎横突起骨折を負った。	66	6	142	1~ 9

93	2020	12	20 ～ 21	凍結防止剤散布作業を終え、基地へ帰還し降車する際、車両のステップを踏み外して転倒し、第12胸椎圧迫骨折を負った。	46	1	221	～ 299
94	2020	12	11 ～ 12	国道走行中、4tユニック車を運転していて、右折箇所で停止し、右折を開始したところ、大型トレーラーに追突され、路外に転落した。その際、頸椎・右肩関節捻挫、左下腿打撲を負った。	70	17	221	10 ～ 29
95	2020	12	9 ～ 10	現場内の防災倉庫前で、4tダンプトラックを倉庫に対し、後ろ向きでサイドブレーキを掛けて駐車して、運転手が車止め設置のため降車した。その際、後輪部分が傾斜になっていたため車が後退し、後方で作業指揮を行っていた被災者の右腕が倉庫と車の間に挟まれ、骨折、裂創を負った。	58	7	221	1～ 9
96	2020	12	15 ～ 16	民間依頼の雪下ろし作業場で、作業完了後、屋根からはしごを使用して下りる際に、はしご下部3段目で右足を踏み外して地面に落下して、足を骨折した。	50	1	371	10 ～ 29
97	2020	12	8 ～ 9	川の堤防で、舗装工の準備作業で2.5tローラーを移動させていた際、ダンプとすれ違うスペースを確保するため路肩へ寄ったところ、ローラーがバランスを崩して転落し、ローラーの下敷きになって骨盤骨折による出血性ショックで死亡した。	70	1	144	1～ 9
98	2020	12	16 ～ 17	林道で法面工事の検査後、親綱の撤去作業をしていた際、積雪のため滑って水路脇の側溝に転落し、顔面を骨折して肩を脱臼した。	23	1	719	10 ～ 29
99	2020	12	10 ～ 11	新築工事現場で、ダンプから鉄板を降ろす際、手が滑って鉄板が右足の上に落ち、安全靴を着用していたが骨折した。	57	4	521	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。

